

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名

消防団水害対応能力向上事業

自治体名

山口県下関市

消防団名

下関市消防団

1 事業の目的

局地的な豪雨、台風等により発生する水害に備え、団員の安全管理のための装備品を充実させるとともに、水防訓練（座学・実技）を実施することで、水害への対応力向上と団員の士気の高揚を図る。

2 事業内容

水害時の基本的な水防訓練を常備消防とともに実施することで、水防に関する知識、技術及び連携力の向上を図るとともに、団員の身体保護のための胴付長靴や緊急用のスローロープを配備することで、団員が安心して活動できる環境づくりに取り組む。また、訓練の様子をSNS・ホームページで発信することで、消防団のPRを実施する。

【事業内容詳細】

- ・ 胴付長靴及びスローロープの配備（31分団123部全ての部へ配備）
- ・ 常備消防（水難救助隊含む）と消防団が連携した体験型の水害対応訓練をダム及び仮設プールを使用して実施
（胴付長靴の取扱い訓練、水防工法、水害救助対応等）
- ・ 全体訓練（座学・実技）で学んだことを、各分団訓練でフィードバック
- ・ 訓練の様子をSNSやホームページでPR

3 事業成果

団員の身体保護を目的とした胴付長靴の配備、水害時の知識及び技術の習得。さらには、実際のダムを使用しての水害救助対応、水流や濁りを模擬させた仮設プールでの体験型訓練を常備消防（水難救助隊含む）と連携して実施することで、危険予知も含めた水害対応力の向上が図れた。また、訓練参加者が訓練内容を各分団に持ち帰り訓練することで、地域防災力の向上につながる取り組みとなった。さらには、訓練の様子をSNSやホームページで発信することにより、消防団のPR、消防団の士気高揚及び活性化につながった。

訓練後には、団員の危機意識の向上による要望から、緊急用スローロープの配備も行い、消防団員が安心して活動できる環境を整えることができた。今後も、出水期前には、本事業による資機材を使用し、継続した水害対応訓練を行うことで、災害リスクに備えることが可能となった。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
訓練回数	回数	32回以上	128回	※訓練及び人数については、全体と各部署の合計値で計上
訓練参加者	人数	500人以上	539人	
広報	回数	2～3回	2回	

5 その他参考情報

消防団ホームページ：<https://sbkeibou.wixsite.com/website>

消防局公式Instagram：https://www.instagram.com/shimonoseki_fire119/

